

古賀駅東口

## 駅前広場の形状と配置パターンの比較

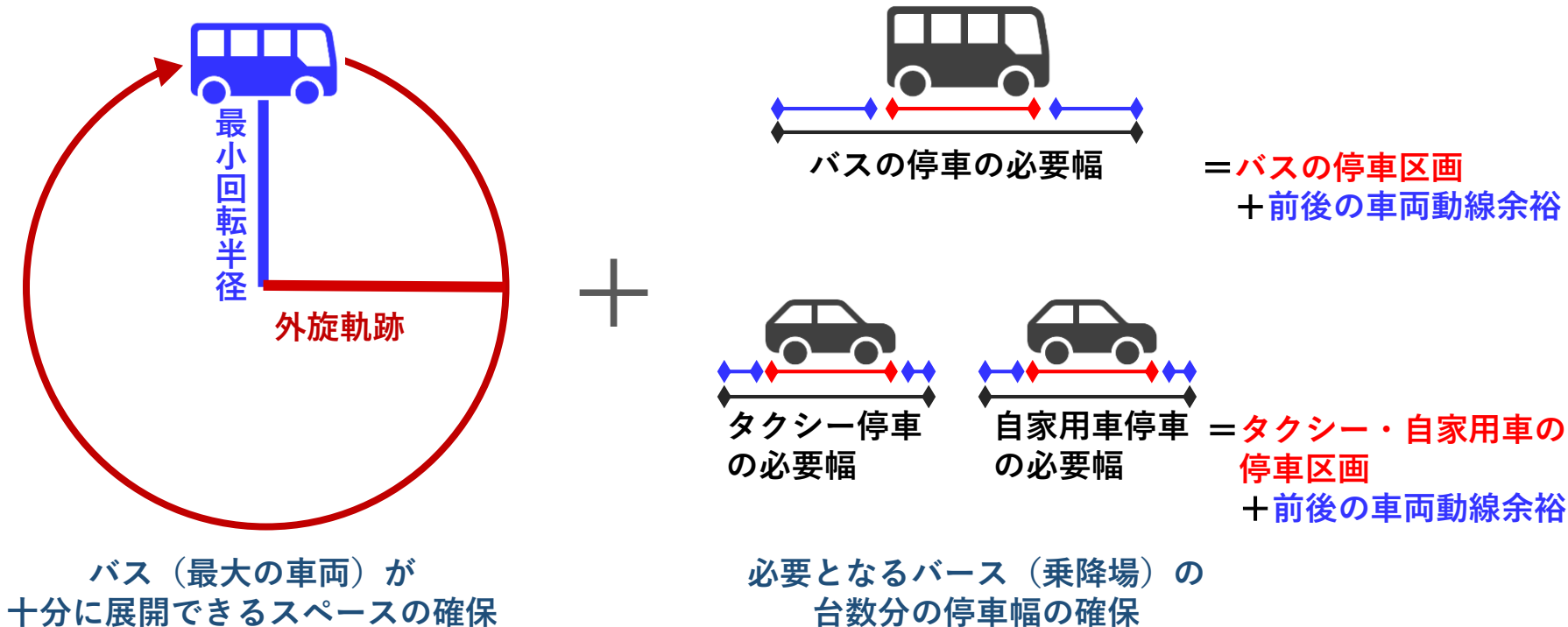
---

# 駅前広場の形状と配置

## (1) 駅前広場形状の基本的な考え方

- ・ 駅前広場は、バス等の車両の転回スペースと、各バース（乗降場）の停車幅の確保が必要。

### 転回スペースと停車幅の確保

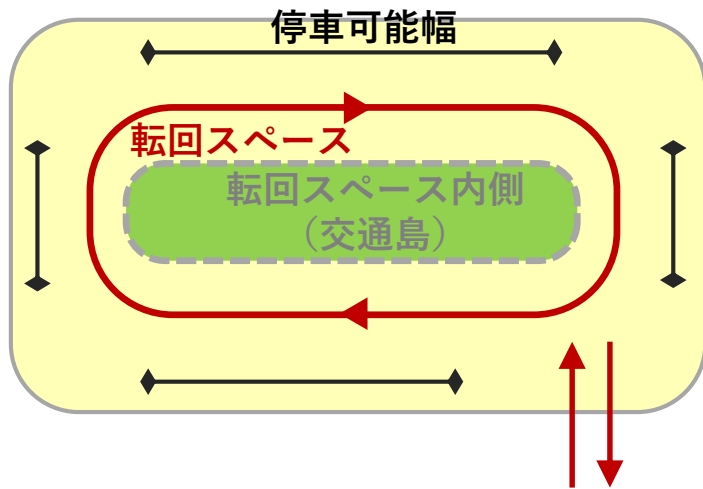


# 駅前広場の形状と配置

## (1) 駅前広場形状の基本的な考え方

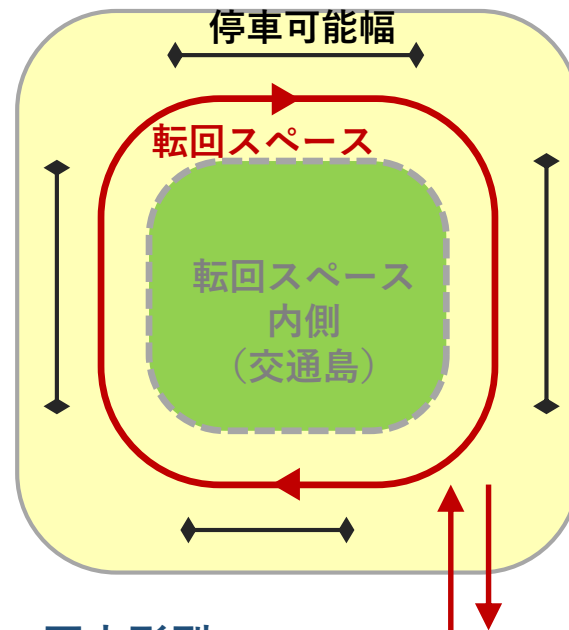
- ・ 転回スペースと各バースの停車幅を効率的に確保するためには、長方形型が望ましい。

### 長方形型と正方形型の比較



#### 長方形型 (バスの最小回転半径の奥行)

- 転回スペース内側の交通島の面積が少なく、効率的な配置がしやすい



#### 正方形型

- ▲ 転回スペース内側の交通島の面積が大きく、無駄な空間ができやすい

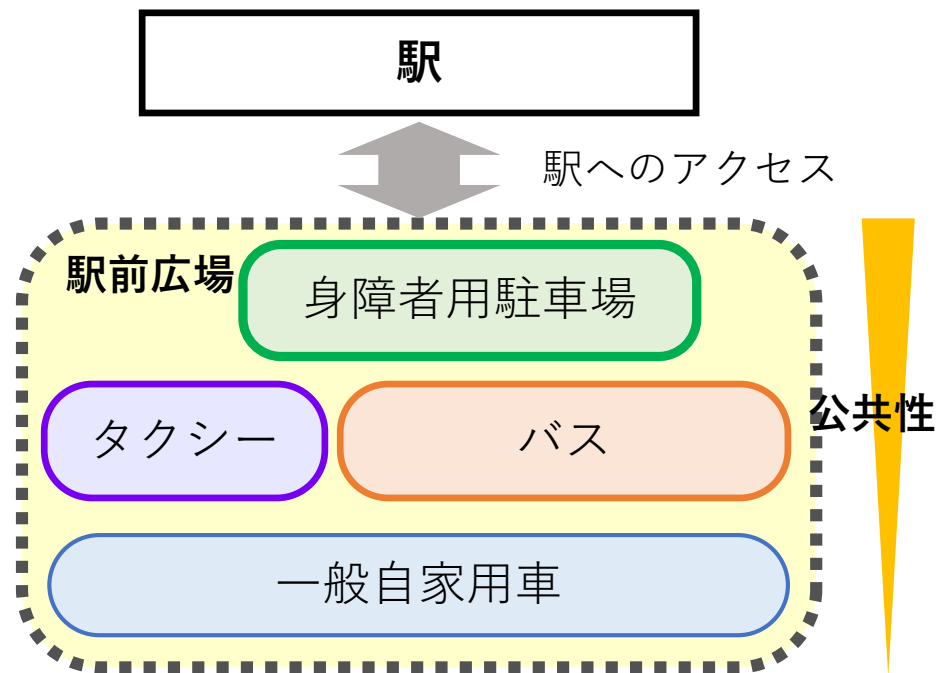
※ 転回スペース内側の空間をタクシープールや駐車場に用いる場合も長方形型の方が効率的

# 駅前広場の形状と配置

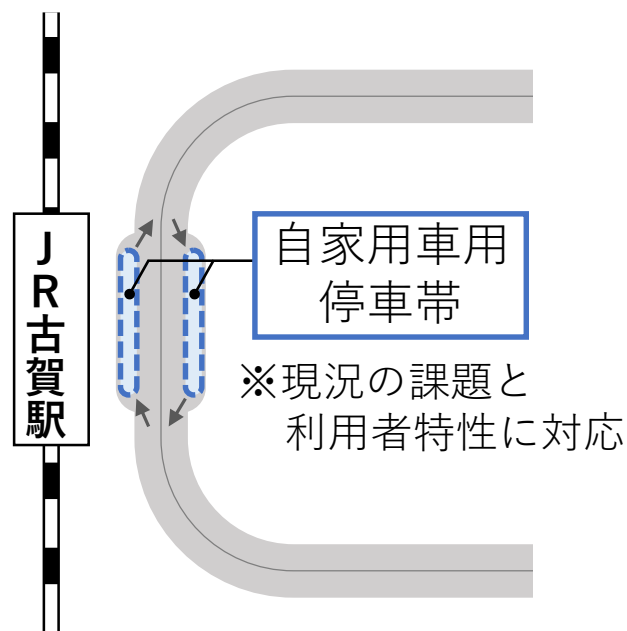
## (2) 各機能の配置の考え方

- ・ 駅前広場内の機能配置については公共性を鑑み、身障者用駐車場を優先的に駅近くに配置し、次いでバス・タクシー、自家用車の順を基本とする。
- ・ 現況の自家用車による乗降の多さと利用者心理に鑑み、自家用車乗降場所を設けない場合に交通阻害要因になることが想定されるため、ループ状道路沿いに自家用車用停車帯を配置する。

各バース（乗降場）の公共性に応じた配置



課題と特性に対応した自家用車用停車帯

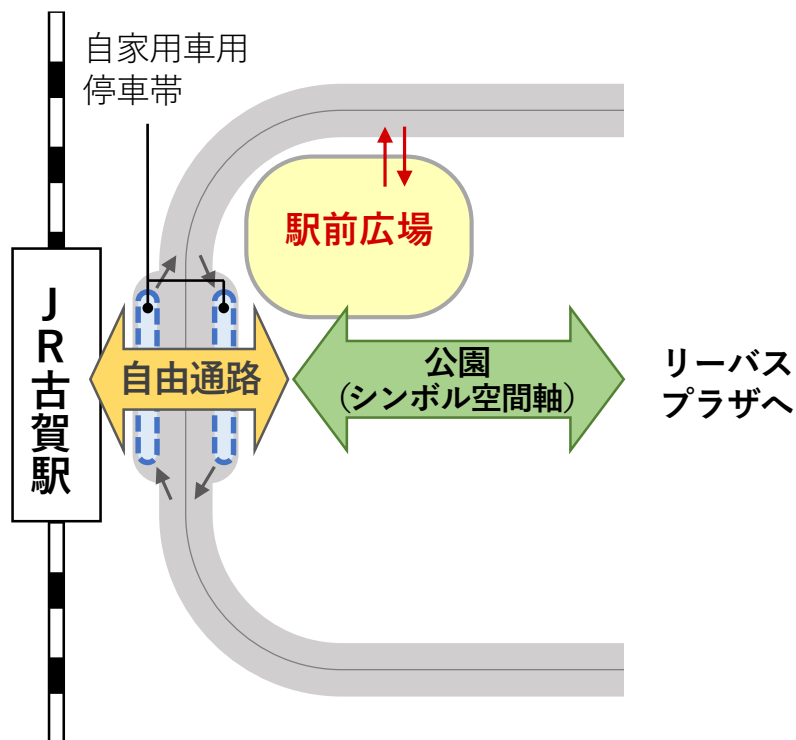


# 駅前広場の形状と配置

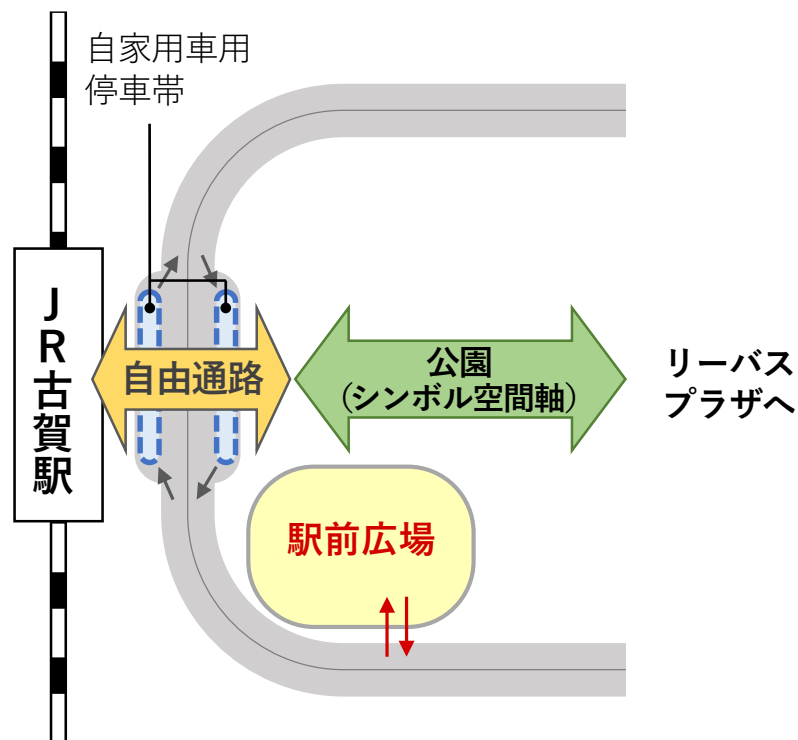
## (3) 駅前広場の配置パターン

- ・ 東口周辺地区の整備方針である駅とリーバスプラザを結ぶシンボル空間軸の形成のため、駅からシンボル空間軸を遮らない配置とする。
- ・ 駅前広場の配置として、北側（案）と南側（案）が考えられる。

北側（案）



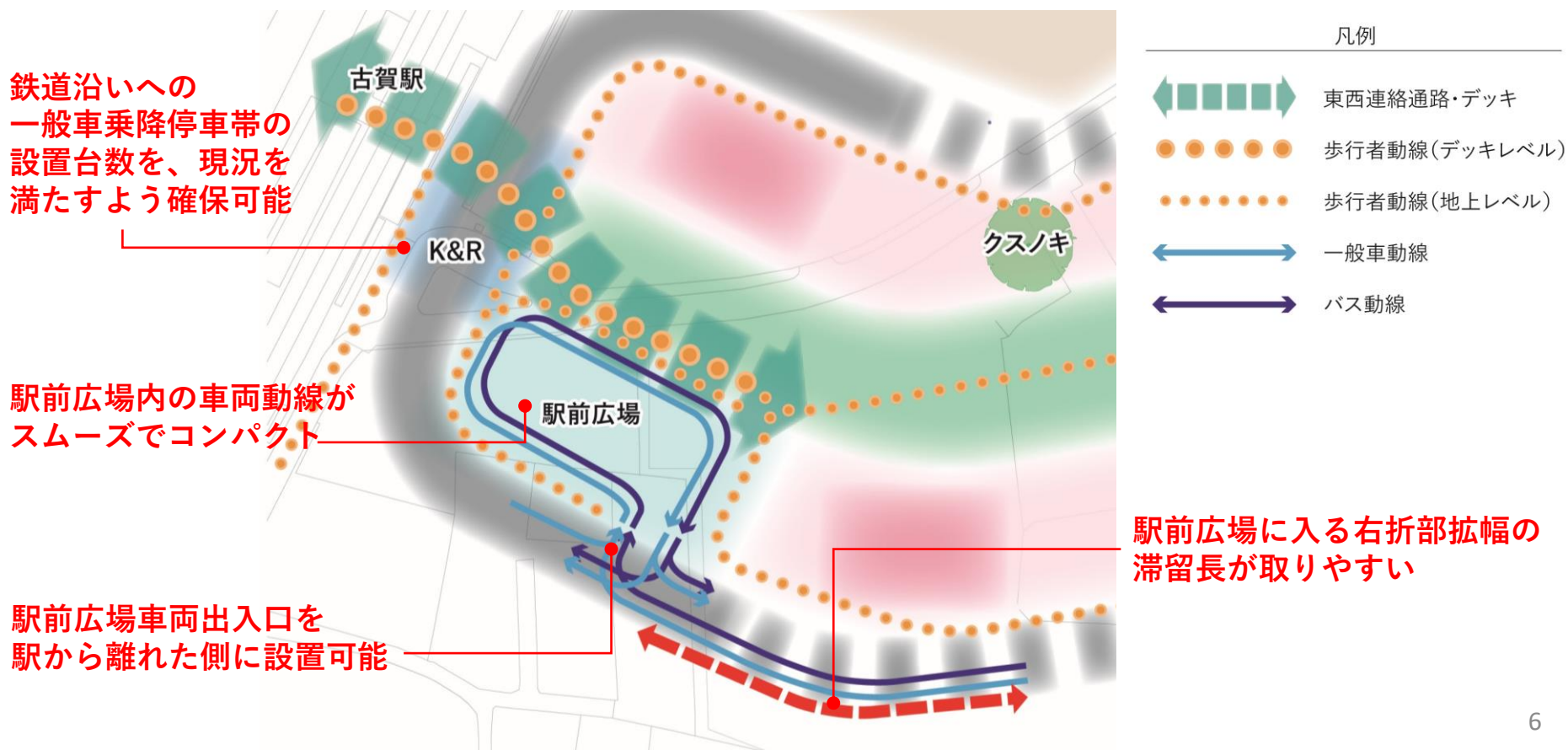
南側（案）



# 駅前広場の形状と配置

## ①南側-出入口集約パターン

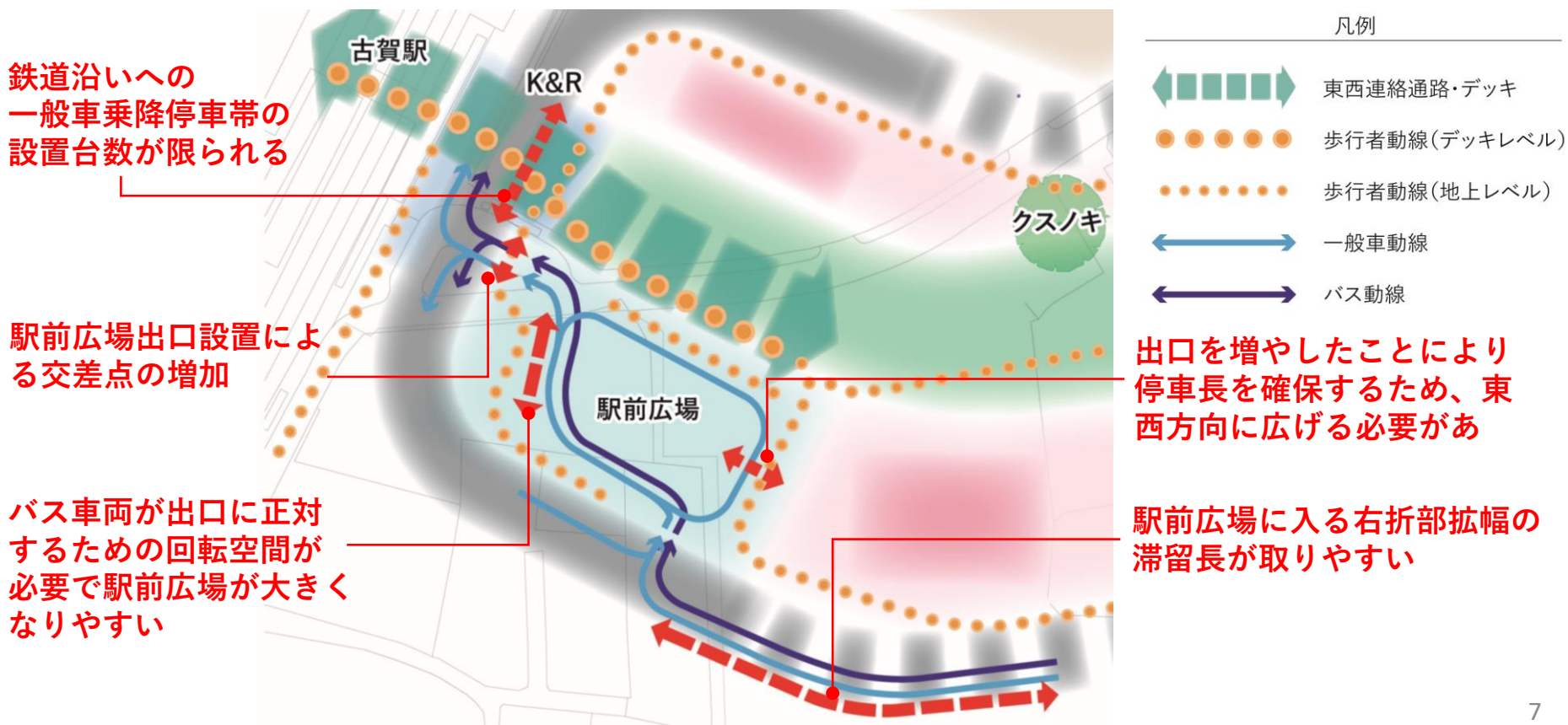
- ・ 駅前広場出口でバス車両が道路に正対しやすく、駅前広場面積をコンパクトに抑えることが可能
- ・ 駅前広場車両出入口を駅から離れた側に設置でき、鉄道沿いへの一般車乗降停車帯の設置台数を現況停車台数を満たすよう確保が可能



# 駅前広場の形状と配置

## ②南側-出入口分離パターン

- ・ 駅前広場出口でバス車両が道路に正対しにくく、駅前広場面積をコンパクトに抑えることが難しい
- ・ 駅前広場車両出口が駅側の設置となり、鉄道沿いへの一般車乗降停車帯の設置台数を確保しにくい
- ・ 出入口が分離されることで、歩行者動線と車両動線の交錯箇所が発生する



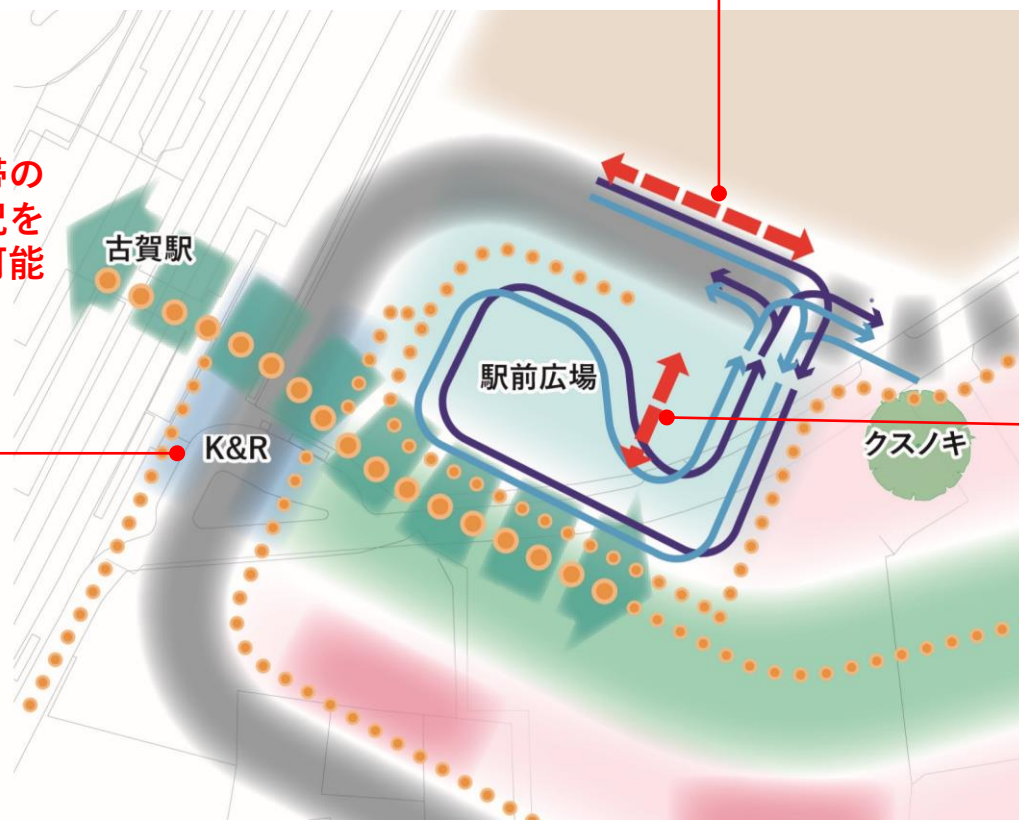
# 駅前広場の形状と配置

## ③北側-出入口集約パターン

- ・ 駅前広場出口でバス車両が道路に正対しにくく、駅前広場面積をコンパクトに抑えることが難しい
- ・ 駅前広場車両出入口を駅から離れた側に設置でき、鉄道沿いへの一般車乗降停車帯の設置台数を現況を満たすよう確保が可能
- ・ 駅前広場入口の右折部拡幅の滞留長が確保しにくい

鉄道沿いへの  
一般車乗降停車帯の  
設置台数を、現況を  
満たすよう確保可能

駅前広場に入る右折部拡幅の  
滞留長が取りにくい



凡例

- ◀▶ (Green) 東西連絡通路・デッキ
- (Orange) 歩行者動線(デッキレベル)
- (Orange) 歩行者動線(地上レベル)
- ↔ (Blue) 一般車動線
- ↔ (Purple) バス動線

バス車両が出口に正対する  
ための回転空間が必要で駅前  
広場が大きくなりやすい



# 駅前広場の形状と配置

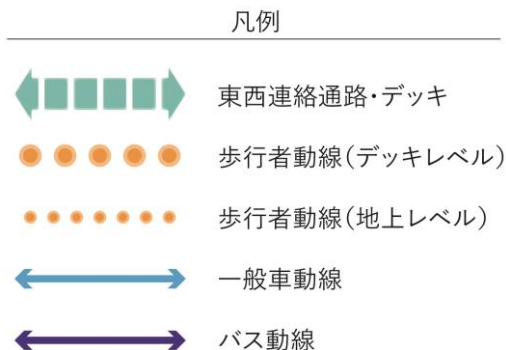
## ④北側-出入口分離パターン

- ・ 駅前広場南北方向はコンパクトに抑えられるが、車両バース確保のために東西方向の長さが必要となり、面積は南側-出入口分離パターンと同程度となる
- ・ 駅前広場車両出口が駅側の設置となり、鉄道沿いへの一般車乗降停車帯の設置台数を確保しにくい
- ・ 出入口が分離されることで、歩行者動線と車両動線の交錯箇所が発生する
- ・ 駅前広場入口の右折部拡幅の滞留長が確保しにくい

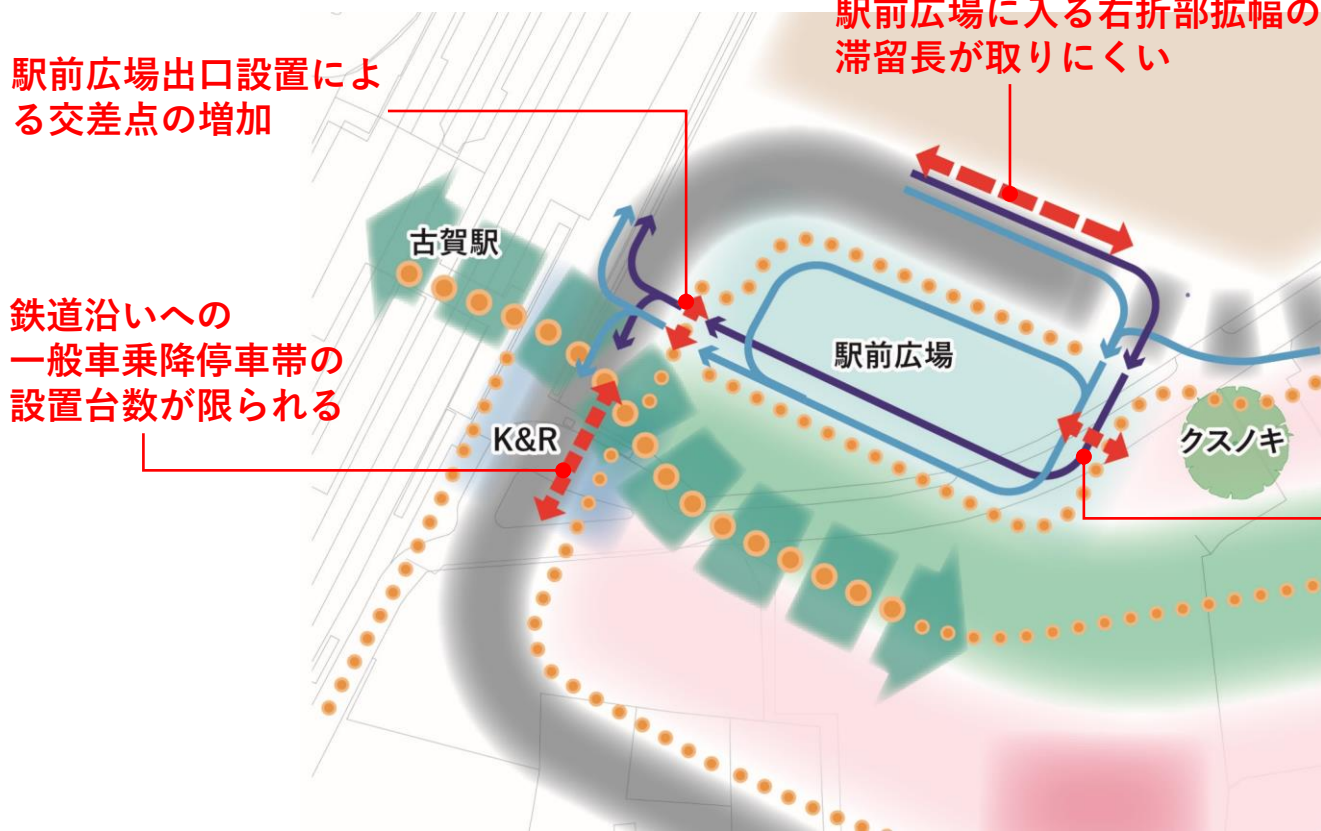
駅前広場出口設置による交差点の増加

鉄道沿いへの一般車乗降停車帯の設置台数が限られる

駅前広場に入る右折部拡幅の滞留長が取りにくい



出口を増やしたことにより車両の停車長を確保するため、東西方向に広げる必要がある



# 駅前広場の形状と配置

## 参考：視点場比較

駅デッキ端部から生涯学習ゾーンへの視線のつながり

### ①南側駅広の場合

- ・視点場が屈曲部の外側に位置するため、公園を軸とした視線が抜ける
- ・空間的なつながりがわかりやすくシンボル性が高い

### ②北側駅広の場合

- ・視点場が屈曲部の内側にいちするため、視線が公園の軸から外れる。
- ・空間的なつながりとシンボル性が低くなりやすい

